

令和5年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立谷中小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えやその理由を明確にした文章を書くこと ・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをもつこと
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活を営む上で大切なきまりについて考え、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりできるようにすること
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算など、基礎的な計算を正確に行うこと ・道具を正しく使い、表や図を正確に作図できるようにすること
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を立てること ・観察や実験などを行って問題解決をしながら、学習内容を理解すること

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを明確にし、文章の構成を考える力 ・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをもつ力 	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉を正しく使い分けて、文中でのそれぞれの役割を理解させる。つなぎ言葉を使って、自分の考えの後にその理由を表す文章を書く指導を行う。 ・話し手が伝えたいことと自分が聞く必要があることの両面を意識しながら感想をもてるように、インタビュー時にメモを取らせたり、短い説明文の要約をしたりする活動を取り入れる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活を営む上で大切なきまりについて考え、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりできるようにする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会への関わり方について選択・判断したことを文章で記述したり、資料を見て説明したり話し合ったりする活動を取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・除法についての理解を深め、適切に用いることができる力。整数や小数の計算の仕方を考え、用いることができる力 ・図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考え、平面図形や立体図形について理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の習熟度に応じて具体物を操作したり、言葉や式、図などを用いたりして学習内容の定着を図る。 ・具体物を用いて操作の仕方を分かりやすく示す。また、道具の使い方を繰り返し練習させたり、習熟問題に多く取り組ませたりする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験を基にして、根拠のある予想や仮説を立てる力 ・観察や実験の結果を基に、自分の言葉でまとめるなど、学習内容を理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を立てる学習活動では、これまでの経験や学習内容を基にして表現することができる話型を提示する。出た予想についてグループで伝え合い、共有する。 ・実験結果を考察する際には、グループ内で実験結果の誤差はどのようなことなのか、十分に話し合う活動を取り入れて、結果の妥当性を見付ける。